

2016年 6月 話題広告賞

【第一回】過去・今・未来をなく
三百年先の未来へ
夢を託す森づくりが
始まっています

三百年先の未来へ、現代の私たちの思いを託す
森づくりが、今、長野市で始まっています。
とき、サワラの苗木約四千五百本を
長野市民が植樹し、守りはぐくむ「善光寺の森」。
善光寺山門の平成の大修理では
他の地域から調達するを得なかった材木を
次回はこの地から送り出すための森づくりです。
若木が三百年を経て大きく育ち、
森の豊かさを生み出し、
さらなる未来へ伝えていくように。
過去から今へ、そして未来へ、夢をつなぐプロジェクトです。
信濃市、未来へつなぐ森づくり。
全国植樹祭なごの2016まであと100日

善光寺の森

第67回 全国植樹祭なごの2016
開催：10月28日(土)11月1日(日)
会場：長野市善光寺山門(善光寺)
協賛：長野市・長野県・長野県民会館・長野県民会館

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会

2016年2月26日付 15段

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会 [制作 なごのアド・ビューロ/シード]

2016年 6月 話題広告賞

第079回
全国植樹祭
ながの2016
開催記念

【第2回】歴史が語る夢

人々の祈りは
豊かな森と深いゆかりで
結ばれ続けます。

善光寺山門は、五間三戸一重門、入母屋造り、

18世紀の完成から何度かの修復を経て

人々の祈りを受け止めてきた、

美しくも重厚な国の重要文化財です。

大正の大火事で檜皮葺とらた屋根を

平成の解体大修理では、

創建当初と同じ榎葺に戻しました。

屋根を葺く約17万枚のサワラ板を、

お歴々の長野市内から調達するとは

残念がらないかもしれませんが、

次回のために30年先の未来を見据えた

「善光寺の森プロジェクト」が、今、長野市民の手で進められています。

信濃から、未来へつなごう。

全国植樹祭ながの2016まであと50日。

善光寺山門の解体大修理の様子。善光寺山門の解体大修理の様子。善光寺山門の解体大修理の様子。

第079回 全国植樹祭ながの2016
開 催 日：平成28年6月15日(土)
式典会場：長野市善光寺山門記念アートエクスプローズ
植樹会場：長野市善光寺山門公園内

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会

2016年4月16日付 15段

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会 【制作 ながのアド・ビューロ/シード】

2016年 6月 話題広告賞

【第3回】未来つなぐ夢

美しく、力に満ちた
森の恵みが
伝統をつないでいきます

善光寺山門の屋根は榎葺屋根として日本最大です。
平成の解体大修理では、18世紀の建築当時と同じように
サラ材を厚さ約12mmの「棚板」と呼ばれる板にし、
職人が一枚一枚くぎを打つて葺きあげました。
サラは木の目がまっすぐで板に加工しやすく
軽いうえに水湿・凍害に強いため、頼もしい屋根材となります。
森の恵み、木の力を知り抜いた
匠たちの知恵とわざが
美しさの中に引き継がれているのです。
この伝統を地元の木でつないでいこうと、
三百年先を見据えた「善光寺の森プロジェクト」が
長野市民の手を動かしています。
信濃から、未来へつなぐ森づくり。
ようこそ全国植樹祭2016へ。

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会



2016年6月4日付 15段

長野市・全国植樹祭2016長野市実行委員会 [制作 ながのアド・ビューロ/シード]